

第4回 へきなん健康づくり21プラン策定委員会 会議録

1 日時 令和7年2月6日(木) 午後1時30分から午後2時

2 場所 碧南市役所 談話室3

3 出席者及び欠席者

(1) 出席者 13名

山中寛紀、西中康人、長田和久、齋藤英延、片伯部裕樹、山本直仁、
島崎肇也、西井清人、永田章子、~~禰~~亘田モト美、山本由美子、加藤加恵、
榊原由太郎

(2) 欠席者 3名

鳥居ゆかり、永坂俊広、中川英治

(3) 事務局職員

健康推進部長 伊藤正博、健康課長 金原厚夫、庶務係長 角谷健二
課長補佐兼成人保健係長事務取扱 石川麻子、
課長補佐兼母子保健係長事務取扱 杉浦あゆみ、
成人保健係 保健師 大野梢、母子保健係 主査 漆島礼子

4 傍聴者なし

5 議題

(1) パブリックコメントの結果について

(2) 第3次へきなん健康づくり21プラン(案)について

【質疑、意見等】

(1) パブリックコメントの結果について

市民からの意見は特になかった。

(2) 第3次へきなん健康づくり21プラン(案)について

特になし

6 その他

・事務局：「第3次へきなん健康づくり21プラン」については、市長と山中会長の巻頭言を入れ、完成とし、ホームページに掲載。委員には、冊子として送付する。

・委員：策定委員として14年間関わっている。時代とともに健康に対する考

え方も変わってきた。策定時に感じるのは、市民の一人ひとりにどのように計画を届け、受け止めてもらえるか。一人でも多くの市民に届けられるような取り組みを期待したい。行政の縦・横、また4師会とのつながりが強いのが碧南市の強みである。

- ・委員：第3次の策定開始から1年が経ち、内容も多く、掴むことに苦労したが、来年からは、策定された計画の実行について協力していきたい。
- ・委員：計画自体は良いものだと思うが、結果が出るのが大事。高齢者・子どもを中心に進めていくものとなっているが、超高齢社会に向かって計画を推進していくことが重要となる。
- ・委員：委員として携わることで勉強になった。引き続き、歯科事業を進めていく。
- ・委員：小学生のコレステロール値等を測っているのは良いこと。学童期の対策は碧南市の特色、今後も活かして行ってほしい。
- ・委員：碧南市は他市と比べ健康経営の取り組みが少ない。来年度、重点施策として、PRしていきたい。
- ・委員：本計画のライフステージに合わせた市民主体の健康づくりの表には成人期は8,000歩目標と書いてあり、自分の中で達成はなかなか厳しそう。今後の参考として、取り組んでいきたい。
- ・委員：碧南市では小学校入学前の説明会で、フッ化物洗口をしている話があった。自分の頃にそういった取り組みはなかった。歯の健康を守る取り組みをしていることは良いことである。
- ・委員：ボランティア活動は50歳代のころからしているが、後期高齢者となり、様々な病院に雇うようになった。運動への意識はあってもできない体になってきた。自分の経験を役立てていきたい。
- ・委員：ボランティアとして活動し、孫も2人いる。お世話をしている中で、筋力をつけなければと思った。高齢者と赤ちゃんと一緒に活動できるような場所、高齢者・母子の両面から健康づくりに役立てていけるような場を設けてほしい。
- ・委員：市民と一緒に健康づくりをしていく中でここにいるメンバーは心強い。庁内連携もしていきながら計画推進に取り組んで行ってほしい。また、保健

所でも分野別に取り組みをしているので、今後も一緒に考えていきたい。

- ・ 委員：地域で子育てができるような場所があったらよい。高齢者と触れ合いや関わりがある子供の方が心のバランスがとれていると感じる。健康は心も大事だと思う。
- ・ 委員：自身が計画の受益者となっている。体操が日課であり退職して８年目となるが健診の数値は良くなっている。進捗管理や評価についても、文章化して閲覧できるようにしてほしい。
- ・ 事務局：進捗管理・評価については、「碧南市保健センター運営協議会」において審議し、公開していく。
- ・ 事務局：第３次へきなん健康づくり２１プランの策定について、ご協議いただきありがとうございました。今後、プランの推進にも引き続きご協力をお願いいたします。